



平成22年4月28日

各 位

会社名：昭和電工株式会社
代表者：取締役社長 高橋 恭平
コード番号：4004 東証第1部
問合せ先：IR・広報室長 皆川 修
(TEL：03-5470-3235)

ハードディスク生産設備の能力増強について

昭和電工株式会社は、当社ハードディスク事業におきまして、主力生産拠点のひとつである昭和電工HDシンガポール社（以下SHDS）のハードディスク生産能力の増強を本日決定いたしました。当社はSHDSに新たなクリーンルームを建設し、本年度末以降生産ラインを順次導入してまいります。

さらに当社ならびに当社生産子会社の有する製造ラインにおきましても、生産性向上のための投資を行ない、各拠点の生産能力の引き上げも併せて行う予定です。

また現在SHDSの所有する二工場を、今秋を目処に一工場に統合し、シンガポールにおける生産の効率化を促進します。

ハードディスクを内蔵するハードディスクドライブ（HDD）は、大型記録容量装置としてパソコン、デジタル家電など様々な分野で使用され、中期的に安定的な需要拡大が見込まれています。当社は、今後もHDDの需要拡大に応じて、お客様のニーズに的確に対応すべく、生産能力の増強を引き続き検討してまいります。

1. ハードディスク生産能力増強等の背景・目的

当社は、当社子会社が有する拠点も含め、千葉県、山形県、台湾、シンガポールの4生産拠点体制を敷いております。現在、全拠点において高稼働の状況が続いており、お客様であるハードディスクドライブ（HDD）メーカーから当社への供給要請は急増しています。さらにノートPCやサーバーの世界的需要拡大やハードディスクのさらなる大記録容量化の進展も予想されています。こうした事業環境を踏まえて、当社はお客様のご要望に適う高記録容量のハードディスクを安定的に供給するために、生産能力の増強を行うことといたしました。

2. ハードディスク生産能力増強の内容

- (1) 設備投資額 約100億円
- (2) 投資項目 ①昭和電工HDシンガポール社におけるクリーンルーム建設、製造ライン導入
②全生産拠点における生産性向上のための製造ラインの改修
- (3) 設備完工日程 平成23年3月（予定）
- (4) 全拠点生産能力 平成23年4月以降、月産2,500万枚（予定）
（平成22年3月末現在で、同2,200万枚）

3. 昭和電工HDシンガポール社の概要（平成21年12月31日現在）

- (1) 名称 昭和電工HDシンガポール・プライベート・リミテッド
- (2) 本社 シンガポール
- (3) 事業内容 ハードディスクの製造販売
- (4) 出資構成 昭和電工株式会社100%
- (5) 従業員数 1,093名

4. 今後の見通し

平成22年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

なお、第2四半期累計期間および通期連結業績予想に関する事項につきましては、本日平成22年4月28日公表の「第2四半期累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上